

2019年3月13日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
POSH WELLNESS LABORATORY 株式会社

「シートベルトカバー型デバイス」による事故防止サービス開発に向けた実証実験開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）と POSH WELLNESS LABORATORY 株式会社（代表取締役：根武谷 吾、以下「POSH WELLNESS LABORATORY」）は、POSH WELLNESS LABORATORY が開発した「シートベルトカバー型デバイス」で、ドライバーの眠気や健康状態悪化の予兆検知と事故防止をはかるサービスの提供を目指し、2019年2月から共同で実証実験を開始します。

1. 背景

損保ジャパン日本興亜は、損害保険やサービスなど幅広い事業活動を通じて、お客さまの「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献することをグループ経営理念として掲げています。

POSH WELLNESS LABORATORY は、「<SMART IMPEDANCE> 電気インピーダンス※で世の中をスマートに」をスローガンに掲げ、医療・ヘルスケアから工業分野まで幅広い製品の核となるコア技術の研究開発に取り組んでいます。

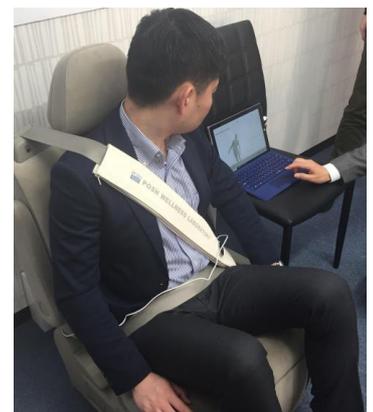
今般、両社は、健康に起因する交通事故の削減を目指すことで合意し、SOMPOホールディングスグループのデジタル戦略を推進するSOMPO Digital Labとも連携して、「シートベルトカバー型デバイス」の活用による新たな事故防止サービスの開発に向けて、実証実験と受容性調査をすることとしました。

※電気インピーダンスとは、交流回路において電流の流れにくさを示す値であり、電圧と電流の比。例えば、体脂肪率算出などに用いられる。

2. 実証実験の概要

本実証実験は第一段階として、損保ジャパン日本興亜が所有する車両のシートベルトに「シートベルトカバー型デバイス」を装着し、シートベルトカバーに埋め込まれた非接触センサーでドライバーの呼吸量・脈拍・運転姿勢を計測します。同時に、ドライバーの呼吸量・脈拍を精密に計測する医療機器で「シートベルトカバー型デバイス」から収集されたデータの精度を検証します。

あわせて、「シートベルトカバー型デバイス」装着時のドライバーへの負担度合や使用感などのサービスの受容性を確認します。



3. 今後の取り組み

両社は、眠気や無呼吸症候群、心筋梗塞など、健康状態の悪化の予兆を検知できる「シートベルトカバー型デバイス」を活用します。また、ドライブレコーダーやスマートフォンアプリなどを用いたテレマティクスサービスと組み合わせた複合的なサービスの開発を検討し、さらなるお客さまの事故防止につながるサービス提供に取り組んでいきます。

以上

【ご参考】

■POSH WELLNESS LABORATORY 株式会社 の概要

名称	POSH WELLNESS LABORATORY 株式会社
本社所在地	東京都港区元赤坂 1-1-7-1105
設立年	平成 27 年 2 月 23 日
代表者	根武谷 吾
事業内容	医療、介護、工業製品等で利用可能な新技術の研究開発

- 「シートベルトカバー型デバイス」は、「第 1 回 JFlex アワード」※¹のグランプリ受賞および「Edison Award 2019」※²を受賞しました。

※ 1 : 「第 1 回 JFlex アワード」

「曲がる・伸びる・繋がる」5G時代に貢献するフレキシブルデバイスの専門展の出展者の中から選出される名誉ある賞です。

<http://www.converttechexpo.com/category.html#jflex>

※ 2 : 「Edison Award 2019」

世界中の革新的な製品、サービス、ビジネスリーダーを表彰し、その栄誉を称える国際的な賞です。同賞はアメリカ・マーケティング協会によって 1987 年に創設され、2008 年からは独立機関が主催しており、各業界で変革を起こしている国際的企業の製品・サービスなどから選出されます。

<http://www.edisonawards.com/index.php>